

展示室1a 日本画の逆襲 ふたたび

2020年8月28日(金)-12月13日(日)

近代の幕開けとともに西洋文化が急激にわが国に移入し、それに対して伝統的な技法による絵画を総称する概念として「日本画」が成立しました。以来、「日本画」は現代絵画となりえるのかという問題意識を常に持ちながら、画家たちは様々な活動を展開してきました。その中では、新しい描画材料への挑戦と同時に、古典絵画の調査研究・模写等を通じて見直された伝統的な技術の現代的解釈とその応用が試みられてきました。

2017年に岐阜県美術館で開催した「日本画の逆襲」展では、現代という時代の性格や生活、感情を盛り込みつつ、西洋絵画と異なる点を肯定して活かしながら、日本画によってしか表現できない何かを創り出そうと挑戦を続ける気鋭の作家を紹介して、日本画をめぐる現状の一端を紹介しました。

展覧会開催後に複数の方からご厚意により「日本画の逆襲」展の出品作を当館に収蔵することができました。このたびの「日本画の逆襲 ふたたび」では、新たに当館に加わった作品に従来のコレクションも組み合わせ、今日の日本画の状況の一端をご紹介します。

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
つちや れいち 土屋 禮一	1946-	こうえいふ 紅映譜	2001	墨、岩絵具、膠、和紙
しんえ みさこ 新恵 美佐子	1963-	うみ ようらん 海の揺籃	2009	墨、顔料、アクリル、キャンバス
かとう りょうぞう 加藤 良造	1964-	さんすいきよう 山水境	2014-15	墨、顔料、岩絵具、膠、和紙
はせがわ よしひさ 長谷川 喜久	1964-	うしな とり きゆうでん DOME —あらかじめ失われた鳥たちの宮殿—	1996	墨、岩絵具、銀箔、膠、和紙
		とき こくこく 刻 刻々	2007	墨、岩絵具、膠、和紙
きかもと いつき 坂本 一樹	1966-	そら 笛— I AM	2013	岩絵具、膠、金箔、和紙
はやしん 林 真	1972-	ふゆ ちよう 冬の蝶	2014	岩絵具、銀箔、膠、和紙
かんべ ともゆき 神戸 智行	1975-	みらい はし 未来へのかけ橋 ハナモヨウ	2013	岩絵具、水干絵具、金箔、膠、楮紙、 典具帖紙
		みらい はし 未来へのかけ橋 アカネモヨウ	2013	岩絵具、水干絵具、金箔、膠、楮紙、 典具帖紙
おかむら ともはる 岡村 智晴	1984-	こも び 木漏れ日	2017	岩絵具、顔料、銀箔、アルミ箔、膠、和紙
		orbit	2017	顔料、銀箔、アルミ箔、錫箔、膠、和紙
はっとり 服部 しほり	1988-	てんぼき 展墓記	2017	墨、胡粉、顔料、岩絵具、膠、和紙